

【オリコンサルHDが事業方針 国内で上下水道PPP 海外は自社企画を推進】

# 国内で上下水道PPP

## オリコンサルHDが事業方針 海外は自社企画を推進

オリエンタルコンサルタ

ンツホールディングス（HD）が、国内で上下水道施設などのPPP事業や、給排水工事の効率化に向けたシステム構築に注力している。海外では自社企画での事業を推進する。野崎秀則社長が28日、東京都内で開いた2024年9月期決算説明会で、今後の事業方針

を説明した。

注目事業に上下水道施設などの維持管理や修繕、更新を一体的に民間に委ねるウォーターPPPを挙げ、HD傘下の事業会社などが取り組む茨城県守谷市の案件を紹介。野崎社長はウォーターPPPが「今後もどんどん進むと思う。半年程度で次の事例が出てくる」

との見通しを示した。

24年9月期の重点化プロジェクト160件の事業を行ったと説明。国内では愛知県刈谷市など5市の共同調達による給排水工事のオンライン申請システムの構築業務を挙げ、今後も別地域で取り組む方針だ。

海外事業はブラジルでのグリーンアンモニアプラント事業を挙げ、「発注者からの依頼ではなく、自社で企画する事業が今後は海外で進むだろう」と述べた。24年9月期連結業績は売上高862億82百万円（前

期比10・4%増）、営業利益46億64百万円（20・1%増）といずれも過去最高を更新。営業利益は13期連続で増加している。受注高は890億31百万円（8・1%増）となった。

今後も国内外で良好な受注環境が続く見通し。25年9月期は連結で売上高870億円（0・8%増）、営業利益47億円（0・8%増）と、過去最高の業績となる計画を立てている。